

令和7年度 学校評価(関係者評価)シート

学校名

加古川市立鳩里小学校

1 教育目標

豊かな心を持ち、自ら考え学び続ける子の育成

一人間尊重、生命尊重の精神を基盤に、豊かな心と自ら学ぶ意欲や態度を育て、生きがいをもって生きぬく人間の素地を養うー

2 基本方針

・確かな学力の育成 ・豊かな個々の育成 ・健やかなからだ ・教師力の向上 ・生徒指導の充実 ・特別支援教育の充実

6つの観点からの教育的アプローチを図り、進んで学ぶ子・思いやりのある子・すこやかな子の育成をめざし、一人一人のよさが輝き合う楽しい学校を展開していくことを目途として、保護者や地域との信頼と連携の中で、確かな学校運営の推進につとめる。

3 指導目標

- (1) 児童一人一人が認められ、大切にされる学校づくりの推進
- (2) いじめを許さない、自他のいのちと心を大切にす豊かな心をもつ児童の育成
- (3) ICTの効果的な活用、協同的探究学習を通して、「確かな学力」を育む授業実践
- (4) SDGsの考えを取り入れ、持続可能な社会の担い手を育む教育活動の充実
- (5) 学校運営協議会及び学校園連携ユニットの活用による地域とともにある学校づくりの推進
- (6) 働きがいを感じる学校組織力と教職員の資質能力の向上及び勤務の適正化の推進

評価基準

A:できている

B:だいたいできている

C:あまりできていない

D:できていない

E:わからない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策
(1) 児童一人一人が認められ、大切にされる学校づくりの推進	自己肯定感を育む人権教育の充実	A	命の学習を中心とした人権教育をさらに進めるとともに、人権フェアなど家庭・地域との連携をさらに深める。
(2) いじめを許さない、自他のいのちと心を大切にす豊かな心をもつ児童の育成	居場所のある学校・いじめを許さない集団づくり	A	児童主体の活動をさらに充実させるとともに、道徳や人権などの学習との連携を図り、さらに効果的な活動となるよう進める。
(3) ICTの効果的な活用、協同的探究学習を通して、「確かな学力」を育む授業実践	「わかる学力」の育成(思考力・判断力・表現力の育成)	B	協同的探究学習のさらなる充実を図るとともに、ペアやグループ学習などによる協働学習の場面を積極的に取り入れる。
(3) ICTの効果的な活用、協同的探究学習を通して、「確かな学力」を育む授業実践	ICTの活用	B	ICTを活用した授業事例の共有化を進めるとともに、児童に積極的にパソコンを活用させることで学力の効率的な向上を目指した授業づくりを進める。
(6) 働きがいを感じる学校組織力と教職員の資質能力の向上及び勤務の適正化の推進	勤務時間等の業務改善への意識向上	C	教職員が心身ともに健康であることへの意識をさらに高めるとともに、行事の精選や校務分掌の見直しを進め、働きがいのある学校づくりを進める。

自己評価の適切さ (関係者評価)	達成状況
今の時代は困ったらAIに頼る風潮があるが、児童が悩みをもった時に一番に相談できる相手が親や先生であるよう、児童との関係を大事にしてほしい。	A
SNSを悪用するのではなく、どのような付き合い方がいいのか道徳の授業でも扱ってもらいたい。	A
児童に「知識を得る」だけでなく「知識を生かす」ところまで意識されていることが素晴らしい。教育のさらなる充実を図ってほしい。	B
引き続きICTを活用しながら、児童の学習する意欲や学力の向上に努めてほしい。	B
業務は依然として多く、個人の努力だけではどうにもならないことがあるのではないかと、育休制度や短時間勤務など、職員全体でバックアップする意識が必要となってくる。	C